

長野県食品製造業振興ビジョン 2.0 (案) について

産業労働部日本酒・ワイン振興室

I 基本的考え方

1 策定趣旨

世界市場の潮流をにらんだグローバルな視点で社会的ニーズにしなやかに対応する長寿県「NAGANO の食」の創出・提供を推進するため、食品製造業者の取組指針として策定。

2 位置づけと性格

県として描く食品製造業の将来像と今後の取組指針であり、長野県産業振興プランと一体的に推進する。

3 計画期間

令和 5～令和 9 年度（2023～2027 年度の 5 年間）

4 進捗管理

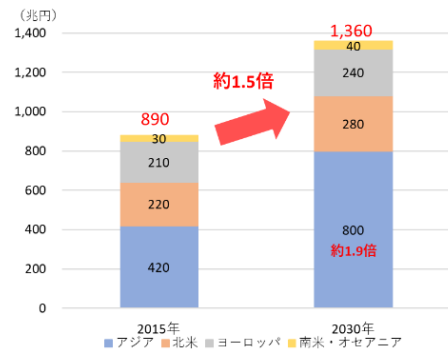
- 長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会において毎年度事業評価を実施し、効果的で実効性のある施策を推進。
- 長野県中小企業振興審議会において進捗状況の把握・検証等を行い必要に応じて見直しを行う。

II 食品産業の現状

【世界の食市場】

- 飲食料の市場規模 890 兆円は、約 1.5 倍の 1,360 兆円に成長すると予測されている。
- 特にアジア市場の規模は 420 兆円から 800 兆円と約 1.9 倍に拡大すると予測されている。

世界の飲食料市場規模（2015 年→2030 年）



【長野県の食品産業】

- 全国で高いシェアを誇る加工食品が多い
 - 味噌 出荷額 全国 1 位
 - 寒天 出荷額 全国 1 位
 - 凍り豆腐 出荷額 全国 1 位
 - ジュース 出荷額 全国 2 位
- 地域の特色を生かした食品産業が形成
 - そば、漬物、半生菓子、おやきなど

伝統的で多種多様な食品の産地



みそ



凍り豆腐



寒天

Ⅲ 目指す姿・目標

目指す姿 グローカルな視点で社会的ニーズに対応した長寿県「NAGANO の食」の創出・提供により国内外の食市場をリードする食品製造業の実現

産学官連携とオープンイノベーションの促進により、国内外に届けられる“健幸食産業”の実現

目標 食品製造業の製造品出荷額等 7,363 億円 (2019 年) → 7,900 億円 (2027 年)
輸出額 57 億円 (2020 年) → 124 億円 (2027 年)
食品開発支援件数及び商品化件数 支援 450 件 (2027 年) 商品化 104 件 (2027 年)

Ⅳ 重点プログラム

1 フードテックを活用した健康志向、社会持続性、安全・安心など消費者、社会ニーズに沿った商品開発力の強化

目指す姿：多様な消費者ニーズに対応するマーケットインの商品づくりができています

- 食品開発支援体制の推進
 - ・信州型フードテックの推進
- 食品製造技術の高度化
 - ・AI・IoT等を活用したデジタル化の推進
 - ・社会課題に対応した商品開発
 - ・多様化する消費者ニーズに対応した商品開発
- 地場食品産業の持続的発展のための取組
 - ・グローバル市場に対応した研究開発・支援
- 多様なニーズに対応できる技術系人材の育成
 - ・大学等との連携による技術者育成

2 地域資源と優れた技術による本質的価値を活用したブランド力の向上

目指す姿：国内外でのブランド力が高まり、高い評価を受けている

- 業界全体・個別企業・商品のブランド力向上
 - ・国内外における品評会等での受賞商品の発信
- 長野県の特性を生かしたブランド力向上
 - ・長野県の伝統的食品産業の“すばらしさ”を発信
- 長野県の基本価値を活用する食品企業の誘致
 - ・新規参入・事業承継の事業者に対する情報提供
- 海外に訴求力を持つNAGANOブランドの構築
 - ・「発酵・長寿」や「GI長野」を活用したプロモーション

3 グローカルな視点による世界市場及び国内需要への展開を加速するマーケティング力の強化

目指す姿：フードスタイルに対応したNAGANOの食により地域経済が好循環となる

- グローバル展開のためのマーケティング支援の強化
 - ・品目ごとの海外展開戦略の検討支援
 - ・「発酵・長寿」ポータルサイトの外国語表記
- マーケットイン等による販路拡大
 - グローバル
 - ・新市場でのテストマーケティングや海外ECサイトを活用した販路拡大支援
 - ・輸出先国の需要等に関するセミナーの開催
 - ローカル
 - ・ローカルサプライチェーンの構築
- バリューチェーンの構築による需要開拓

4 関連産業・機関との連携による新たな価値の創出力の向上

目指す姿：県民の健康を増進する加工食品の製造が持続的に製造されている

- 関連産業間等との連携
 - ・他分野（農業者、観光業者等）産業との連携による課題解決
- 食品産業支援拠点の拡充・整備・機能強化
 - ・他機関や業界団体との連携強化による支援体制の構築・強化

